

# 平成29年度第6回仙北地域協議会会議録

平成30年3月1日

仙北地域協議会

## 平成29年度第6回仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	1
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■報告	3
(1) 平成30年度からの地域枠予算の変更について	3
■協議	3
(1) 地域枠予算について	3
(2) 仙北地域の防災対策の進め方について	3
■その他	13
■閉会	13
■署名	14

## 平成29年度 第6回仙北地域協議会 会議録

---

■日 時：平成30年3月1日（木） 午後6時

■会 場：仙北支所 第1会議室

■出席委員：15名

石田 常盤、大釜 滝浩、大河 奈々子、草 弼 美 香  
小須田 颯、後藤 孝子、小柳 伸一、佐藤 あや子  
佐藤 美佐子、佐藤 隆造、中村 健秀、原 隆新  
藤原 稔、森元 通友、吉田 利雄

■欠席委員：2名

小松 郁子、タベルスキ マイケル

■出席職員：10名

大河 洋子（仙北支所長）	加藤 実（文化財保護課長）
藤嶋 勝広（市民サービス課長）	進藤 一好（農林建設課長）
高橋 明子（仙北公民館長）	高橋 明美（市民サービス課参事）
佐藤コトミ（農林建設課参事）	須田 康平（仙北公民館主査）
高山 知洋（地域活性化推進室副主幹）	草弼 友也（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 支所長あいさつ
  - 4 会議録署名委員の指名
  - 5 報 告
  - 6 協 議
  - 7 そ の 他
  - 8 閉 会
- 

（午後 6時 開会）

### ○吉田会長（以下「会長」と表記）

どうも、お晩でございます。大変、天候の悪い中、そしてお疲れの中、ご出席いただきましてありがとうございます。昨日までは大変、多い雪に悩まされていましたが、今日は、大分消えたように見えますが、この後で雨返しがこなればよいなと思っているところでございます。今日も限られた時間での会議でございますが、皆さんの屈託の無い意見を出していただきながら、この会を進めてまいりたいと思いますので、どうぞ皆さんから活発な意見をいただきますようお願い申し上げます。今日は本当にご苦労さんでございます。

### ○大河支所長（以下「支所長」と表記）

今日は、本当にお忙しい中、この様な悪天候の中、お集まりいただきましてありがとうございます。今日から3月に入りましたけれども、今年は24年度以来の豪雪ということで、仙北地域は、大曲に次いで雪が多い統計となっております。それに伴って各地域で16件程の雪による負傷事故も発生しました。幸い仙北地域ではなかったのが本当に良かったと思っております。今後、雨が降ってきますと緩んできて、また雪の事故も考えられますので、油断しないで除排雪作業をお願いしていきたいと思っております。それでは、去る2月3日の土曜日ですけれども、開催いたしました仙北地域の今や冬の風物詩となりました払田柵の冬まつりについて、少しご報告いたします。当日は朝からとても良いお天気になりまして、前回ご承認いただきました除雪協議会さんの除雪機械試乗体験会や柵真会によりますミニスキー大会が開催されまして、本当に沢山の親子連れで賑わっておりました。また、午後になってからは雨や雪が降り出しまして、少し心配したんですけれども、鍋まつりのほうも好評で人が途切れることがなくて、公民館主催のゆきんこまつりに始まってグラウンド・ゴルフ協会による雪上グラウンド・ゴルフ大会、そしてメインのミニかまくらづくりとライトアップということで、それには今回、仙台から観光ツアーでいらしたお客様も参加してくださって、帰りに出来たてのお餅をお土産に差し上げましたら大変喜んで戻られました。夜には柵真会さんの火振りかまくらや天筆も賑やかに行なわれまして、払田柵周辺に一日中子ども達の笑い声が聞えた楽しい一日となりました。ご協力いただきまして本当にありがとうございました。また、2月15日ですけれども、東部地区の地域協議会の合同研修会が開催されまして、大仙市アーカイブズに行っていました。なかなか見ることのできない歴史、文化に触れてまいりましたが、今回時間があまりなくて駆け足での研修になりましたので、雪が消えたら是非また足を運んでいただければと思っております。お忙しい中、ご参加いただきまして本当にありがとうございました。報告のほうは以上で終わりますけれども、今年度、最終となります地域協議会でございます。今回、地域枠予算I型5件についてご審議いただくことになっておりますので、よろしくようお願い申し上げます。

## ○会長

それでは、議事に入る前に、会議録署名委員を指名させていただきたいと思います。佐藤あや子委員と佐藤美佐子委員に署名委員を務めていただくようお願いいたします。よろしくお願いいたします。それでは、報告のほうをお願いします。

## ○事務局（地域活性化推進室）

平成30からの地域枠予算の変更について配布資料に基づき説明。

## ○会長

ただいまの資料1でございますが、先程説明があったように議会のほうで採択されれば、これが事業として成り立つ訳ですが、今は先程申し上げたとおり報告させていただくことですので、決定した後に皆さんから協議いただくことになろうかと思えます。報告だけでよろしいですか。良ければ、これは閉じたいと思えますがよろしいですか。

（「はい」の声あり）

## ○会長

それでは、次の地域枠予算について審議していただきます。No. 22の事業について説明願います。

## ○事務局（地域活性化推進室）

文化財保護から申請でございます。本日、文化財保護課長が出席しておりますので、課長のほうからご説明いたします。審議後、文化財保護課長は退席いたしますのでよろしくお願いいたします。

## ○加藤文化財保護課長

配布資料に基づき説明。

### ・実施類型I型

No. 22「旧池田氏庭園PR事業」

事業目的：旧池田氏庭園のポスターやチラシを作成し、公開時の企画展等を告知することで、旧池田氏庭園及び重要文化財に指定された洋館の魅力を発信することを目的とする。

申請団体：大仙市教育委員会文化財保護課

申請額：193,212円（印刷製本費）

## ○会長

ありがとうございました。この件について皆さんからご意見をいただきたいと思えます。

○佐藤美佐子委員

説明があったんですけども弘田のほうの庭園も今度から入園料をとるようになるんですか。

○加藤文化財保護課長

本家庭園のほうです。今現在320円いただいておりますので、議会の最終日が3月16日で議決をいただきたいと思っておりますけれども、それに上程している案としては、20円という端数を取りまして300円にしたいということで。併せて、団体割引も導入したいということで上程しております。

○会長

よろしいですか。その他ございませんか。なければ採択に移りたいと思いますが、皆さん賛成でよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

ありがとうございました。

(文化財保護課長退席)

○会長

それでは、次の事業について説明をお願いします。

○藤嶋市民サービス課長

配布資料に基づき説明。

・実施類型Ⅰ型

№. 23 「非常時用発電機整備事業」

事業目的：防災機材を整備し、災害発生の応急対応を迅速かつ適切に実施する。

申請団体：仙北支所市民サービス課

申請額：56,905円（修繕料）

○会長

はい。ただいま、説明いただきましたが、この件について皆さんからご意見をいただきたいと思っております。

○原隆新委員

非常時に使えないでは、発電機の意味がございませんので、素早くやっていただければと思います。

○会長

早期の修繕を望むということだそうです。その他にご意見なければ採択させてもらってよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

はい。皆さんからご理解いただいたものとさせていただきます。では、次の事業について説明をお願いします。

○藤嶋市民サービス課長

配布資料に基づき説明。

・実施類型Ⅰ型

№. 24 「史跡の里せんぼく「さくまる館」観光案内整備事業」

事業目的：さくまる館は、庁舎付帯施設機能のほか、市民活動を支援し地域コミュニティ形成を促進する多目的施設として建設され、利用開始以降、多くの市民・各種団体利用されているため、地域の観光情報を発信する場として観光案内看板を整備し、観光振興を図る。

申請団体：仙北支所市民サービス課

申請額：41,010円（委託料）

○会長

はい。ただいま、説明をいただきましたが、この件につきまして皆さんからご審議いただきたいと思います。設置場所は、正面玄関ホールでしょうか。

○藤嶋市民サービス課長

そうですね。玄関に入って右側が大研修室になっているんですが、左側が中研修室でその壁面に取り付けたいと思っています。

○会長

よろしいですか。ご理解いただけますか。

(「はい」の声あり)

○会長

賛成同意いただけましたので、可決させていただきます。これは、今の含めて2箇所だけですよね。あと、柵の湯に設置とかしなくていいものですか。

○藤嶋市民サービス課長

来年度以降、検討していきたいなと思っております。

○会長

わかりました。それでは、次の説明をお願いします。

○藤嶋市民サービス課長

配布資料に基づき説明。

・実施類型Ⅰ型

№. 25 「仙北地域コミュニティ用品整備事業」

事業目的：コミュニティ活動用品として貸し出ししているテント・机等が経年劣化により、破損しているものが多いため、コミュニティ活動に利用する際に不便をかけている状況であることから、修繕及び購入し更新することで地域のコミュニティ活動の活発化を図る。

申請団体：仙北支所市民サービス課

申請額：399,319円（修繕料・備品購入費）

○会長

ただいま説明いただきましたけれども、皆さんからこの件についてご意見いただきたいと思えます。

○後藤孝子委員

テントは災害時にも使われますし、色々なイベントにも使われているものですので、修理したり、更新したりしていただきたいです。

○森元通友委員

私達もイベント時にテントや机をよく利用させていただくんですけども、組み立てや解体の時とかも、壊れている所があれば効率も悪くなってしまいますので、フックが取れたりだとか中の部品がなくなっていたりだとかで時間もかかりますので悪いものは直していただきたいのと、机も穴が開いたりだとかしていると参加者の怪我にもつながると思えますので、そういったものは新しいものに替えていただいて参加される方も利用される方も気持ちよく使っていただけたらと思いますので是非、お願いしたいと思えます。



○会長

はい。ありがとうございます。ちなみに折りたたみ式のテントの耐用年数ってどれくらいで考えてますか。

○藤嶋市民サービス課長

はっきりは分からないですけども、10年以上は使っていると思います。

○会長

はい。わかりました。他にございませんか。それでは、上程された件についてご理解させていただいたものとしてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

はい。ありがとうございます。それでは、次の説明をお願いします。

○事務局

配布資料に基づき説明。

・実施類型Ⅰ型

№. 26「マイクロバス用仙北地域PRマグネット購入事業」

事業目的：昨年度、支所所有のマイクロバス側面に貼り付けて地域イベント等をPRするため、広告マグネットを作成したが、これに新規の広告マグネットの作成及び更新等を行ない、それぞれの開催時期に応じて張り替えながらマイクロバス運行時の地域イベントをPRする。

申請団体：仙北支所地域活性化推進室

申請額：59,400円(委託料)

○会長

ただいま説明がございましたが、この件について皆さんからご意見いただきたいと思えます。今現在はフィルムで貼られているのですか。

○事務局

そうです。

○石田常盤委員

マイクロバスは1台だけですか。

○事務局

はい。支所では1台だけです。

○会長

よろしいですか。皆さんからご理解いただいたものとさせてもらってよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

はい。ありがとうございます。地域枠予算については以上でございますが、他になにかございますか。

○事務局（地域活性化推進室）

平成29年度地域枠予算採択事業実績（見込み）一覧について配布資料に基づき説明。

○会長

はい。ありがとうございました。ただいま平成29年度の地域枠予算の実績の見込みを含めた説明をいただきましたけれども、去年よりも3%くらい執行率が落ちてるってことですが、他の地域からすると執行率は悪くはないと思います。よく消化されてるのかなという印象ですが、出来れば100%にしたいところですが。この件につきまして皆さんからご意見いただきたいと思います。なければ、この件についてはよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○会長

はい。急ぐようですみませんが、次の仙北地域の防災の進め方について皆さんからご審議いただきたいと思います。この件につきましては、先般皆さんのほうに資料3として事前に配布してございます。それぞれの委員の皆さんからご意見いただいたものを資料として載せておりますので、大変恐縮でございますが、ここに記載されている小柳委員から順番にご意見をいただきまして、協議していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

○小柳伸一委員

自分も災害予防組合をやっている中でこういうのを書くというのは、自分に言い聞かせる意味でも書きましたが、集落単位で災害予防組合や集落会、自主防災組織が中心となって年1回程度の活動をする必要があると思います。活動の内容としては、消火器訓練だとか炊き出し訓練や救急救命講習、あるいは屋根の雪下ろし講習のようなことも含めて、まだ様々な講習会もありますし、防災の講演会を集落でやればより一層、一般の人達に浸透するのではないかなと思ってましてこの様に書きました。これを実施するためには、市や

消防署などの専門的な知識のある人達からアドバイスをいただいて、必要に応じて講師や指導者を派遣していただいて、やっていけばいいのではないかなと思いました。

#### ○会長

はい。ありがとうございました。皆様からは、この資料に意見を記載している方々から意見の述べていただいてから、皆さんでご協議いただきたいと思いますので、次に佐藤美佐子委員さんからお願いします。

#### ○佐藤美佐子委員

質問が大きいのでとても悩んだんですけども、個人レベルで防災のことをやるっていうのはとても無理だと思うので、防災の推進協議会みたいなものを役所が主導して作ってもらうっていうことと、それをどう動かすかっていうのを民間レベルの様々活動を市役所が主体となって繋げていって行くというのと、地域の顔の見えるリーダーが防災活動の推進役をやってもらって、地域の人達と活動をしていけばいいのかなと思いました。

#### ○会長

はい。ありがとうございました。次に大釜委員さんお願いします。

#### ○大釜滝浩委員

前回の会議に出ていないので流れがちょっと分からなかったんですが、この地域で払田の山以外は、平坦な地域で今までは、水がつく場所も限られたところだったと思いますけど、水害だけでなく様々な災害が起こる可能性はあるので、そういったときに安全な避難場所が確保できているかどうか。あと、家にちゃんと人が住んでいるかどうか分からないこともあって、避難をさせなければならない人がその家にちゃんと住んでいるかということを確認して把握していなければならないと思います。雪があつて出入している様子はないけれど、住んでる場合も無きにしても非ずだと思いますので、そういうところの確認を適宜とおこななければならないと思います。

#### ○会長

はい。次に中村副会長さんお願いします。

#### ○中村副会長（以下「副会長」と表記）

私もこの前の小柳委員さんのお話を聞きまして、平成33年に総合防災訓練があるっていうことでしたが、その前に地区毎の防災についての意見交換をして、災害の際の避難を誘導する人や避難場所、防災グッズなどを保管する場所を確認することが必要ではないかと。それを踏まえて中学校でやっている防災訓練、何年か前に西中学校でやった時に視察させていただいたんですが、被災しての炊き出し訓練ですとか、一般の方も加わってやっていたのを見まして、生徒達もすごく勉強になったと思いますし、市民の方々も良い体験

になったのではないかなと思いましたが、そういったものに参加する機会があればなと思っております。

#### ○会長

はい。ありがとうございました。次に石田委員さんお願いします。

#### ○石田常盤委員

ここに書いてあるとおりで、避難場所までのルートの確認と避難場所についてそれぞれの集落会や個人がそれぞれ確認してもらうことです。

#### ○会長

はい。ありがとうございました。次に後藤委員さんお願いします。

#### ○後藤孝子委員

仙北地域の内容とはちょっと違った個人的なものなんですけれども、最近、本当に地震、噴火、竜巻など色々な大きな自然災害が起きてますので、個人的に日頃の備えについて、そういったことを意識して生活したいなと思っています。やはり地域で話し合いの場を持つことが大事なのかなと思います。自分の命は自分で守るということで避難の経路を確認したり、資料なんかも市のほうから随分配布されているので、それを自分で一つに纏めて、時々目は通しておけばいいのかなと思います。普段の心がけをしっかりと一人ひとりが持っていればいいのかと思っています。

#### ○会長

はい。ありがとうございました。佐藤隆造委員さんお願いします。

#### ○佐藤隆造委員

防災対策っていうのは、私には非常に荷が重いっていうか、そういうふうな感じがしました。災害っていうのは、どのようなものを想定しているのかっていうのが第一な気がしています。自分の生活から考えれば、この前も水の話をしましたけど、ゲリラ豪雨だとか上流に降っただけで川が氾濫するってことがあると思いますが、水害の場合は堤防が破れた場合でも住んでる場所によって全然違うということがありますし、避難場所も住んでる地域によって違うと思うということが一点目です。それから率直に言ってここでは津波の訓練は考えられないけれども、地震は100年スパンで考える一番最初のものじゃないかという感じはします。というのは、水害は私が子供の頃に経験していますが、地震は、明治29年にこの地域は大変やられてます。千畑地震だとか六郷地震だとか、高梨地区なんかは住宅が100棟近く倒壊してますし、死者は高梨地区で30名位で横堀で7名という記録が残ってます。いろんな災害があるけれども地震が一番想定される災害なのかなって感じはします。災害っていうのは、我々が何を想定して入っていかなければならないのか

っていうのを考えないと難しいものでないかと思います。ちょっとここに書きましたが、ハザードマップだとかも出来てますし、各地域にヘルメットもきています。でも何時、誰がどのようにして使うかっていう説明は、紙に書いてるかもしれませんが、見てない人は見てないと思います。非常に難しい問題だなと思っていますし、専門的な考え方をもった人達も沢山いると思いますし、消防だとか、災害予防組合だとか、いざとなった時には、昔だったら集落会長だったり先になるもんじゃないかとは私は思っています。

## ○会長

一通りこの資料に載っている委員さんには意見を発表していただきましたが、ここに意見として記載していない方々で考えていることがある方がいらっしゃれば伺いたと思います。

## ○小須田顕委員

何か起きたときに、役所の人々が来るまでポーッと待ってるってことは有りえないので、地域の人達の連携っていうのは非常に大事だと思います。でも最近、集落なんかでも総会にはいらっしやらないし、夏祭りでも同じ顔しか集まらなかったり、地域の人達との繋がりなんか薄れてきているので、そういうことを繋がりをしっかり持つことが、防災にも繋がるのかなと思います。地域の人々がどんどん動けるようになっていけばいいなと思います。

## ○原隆新委員

どういう災害を想定していたのか、この災害だったらこう動こうとか、そういうのが今までよく見えなかったもので、ここは海はないので、津波とか山崩れ崖崩れというのはないと思うので、仙北地域を考えればちょっと絞れるかなと思います。そういう具体的なものがあれば、もっと素早く動けるのかなという感じはしました。

## ○森元通友委員

私も具体的に防災っていうのは何かというのは分からないので、実際に身近で出来ることはなんだろうって考えた時に、この間、柵真会で集まった時に、火災が起きた場合の消火器の訓練なんかは自分達で出来るんじゃないかなという話はしました。小須田委員さんからもありましたが、それをきっかけに地域の人達が集まればいいかなと。この会にはこの人、この会にはこの人っていうなんとなく区分があるんですけども防災ってことに関しては、大人から子供まで関係あるので、自分達で出来ることを自分達でやるってことと、具体的な災害を挙げて話を進めるほうがいいんじゃないかなと今、お話を聞いて感じました。

## ○藤原稔委員

防災っていうのが字の如く災害を防ぐための手段なのか避難まで含めたことなのか範囲が広くて私も出せなかったんですけど、災害が起きたときにどう周知するか、どの災害によってどこに集まるのかって色々考えた時に、集落内の組織化というか集落内の取り決めっていうのが大切かなと思います。

## ○草薙美香委員

災害で一番危険なのは地震かなって思うんですけども、この間の3. 11の時も周りの人達を見れば、農家も多いせいか、一軒家も多いせいか各自家で乗り越えられたかなっていう家は多かったと思います。ただし、それがおじいちゃんおばあちゃんが居たり若夫婦が居て子供と一緒に住んでる家の場合で、一人暮らしの方とかがどうしたらいいのか右往左往しているっていうのが私その時ネックだったところでした。そういう人達をどうするのかとか、バラバラに動いてしまえば何ともならないなと思ったのがその時で、各家でなんとかできる家はいいんですけども、そういう人達をどうしていくのかを定めるとか、集落でどういう役割を決めても周知していかないと、成り立っていかないと思うので、そこら辺も大切なことかなって思います。

## ○大河奈々子委員

災害に関する講演会だとか専門家の方の話を聞く機会を設けて、防災意識を高めたうえで、集落の訓練だったり、炊き出しの訓練だったり少しずつ出来ればいいのかなど。でも集落でやるとすると子供が居る家は別のことで忙しくて参加できないことも多いので、学校のPTA授業とかでも講演会とかあればいいのかなと思いました。

## ○会長

ありがとうございました。皆さんからそれぞれご意見をいただいたんですが、私的に考えてみますと、リーダーシップがどこにあるのかということですね。我々、地域協議会が携るのも結構ですけども、自治会が主たるリーダーになるべきだと思いますし、災害予防組合の組織もある訳ですので、集落単位でも自治会単位でもいいでしょうし、まとめ役になってもらうことが大切じゃないかなと思います。リーダーシップをとってもらえるような環境づくりを委員会の意見として、自治会や予防組合のほうにお願いするっていう方法、そして先程お話があったように集落単位でもいいし、地域単位でもいいし、また大河委員さんが言われたように子育てしている家庭は参加したくても出来ないといったことも考慮しながらということで、その辺を鑑みながら活動していただければと思います。小柳委員さんから提案いただいた防災について色々な協議をしていただいたんですけども、それを総括した意見として、もし皆さんからご理解いただければ自治会連合会や災害予防組合の総会に地域協議会の意見として提出させていただくってことでいかがですか。

## ○事務局

先程からお話をお伺いしておりますと、動く範囲っていうのが自治会や災害予防組合という意見が多かったように思います。その団体へ地域協議会でこの様な意見があったという流れで進めたいと思います。ただ、今日も色々な意見をいただいておりますので今日の意見を取りまとめまして、次回の協議会でお示したうえで各団体へお知らせするような形にしたいなと思っておりますがよろしいでしょうか。

## ○会長

小柳委員さんから防災について考えるべきじゃないかっていう提案があって皆さんから意見を出していただいて、協議させていただいたところでございます。先程からこの件について色々とお話させていただきましたが、自助、共助、公助っていうのを考慮しながら自治会や災害予防組合のほうにお願いできればと思います。その他にありますでしょうか。なければその他に移ってよろしいですか。

(「はい」の声あり)

## ○会長

事務局のほうから何かありますか。

## ○高橋仙北公民館長

せんぼくスポーツクラブ会員の募集について配布資料に基づき説明。

## ○会長

これについて皆さん何かご質問等あれば承ります。ございませんか。大変足早に進行しまして皆様にはご迷惑だったかもしれませんが、なければこれでこの会を閉じたいと思いますがよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

## ○会長

大変、長時間ご審議いただきましてありがとうございます。これを持ちまして今日の会を閉じたいと思います。苦勞さんでございました。

(午後 19時30分 閉会)

---

仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

佐藤 あや子

---

佐藤 美佐子

---